

2026

しがの生協

No.206

TOPICS
トピックス

第52回通常総会を開催 全議案を可決

滋賀県生協

第52回

日時 2026年6月27日
場所 滋賀医科大学一館

6月27日(土)、第52回滋賀県生協連通常総会を開催しました。当日は台風7号・8号の接近が予想されていたため、多くの代議員の皆さまには事前に書面議決での参加をお願いし、少数の代議員のみの開催とする安全に配慮した運営としました。

審議されたすべての議案は、いずれも賛成多数で可決され、無事に総会を終了することができました。ご協力いただいた代議員のみなさま、ならびに関係者の皆さまに心より感謝申し上げます。



(上)左から、司会：河瀬県連理事、議長：コープしが・森田代議員、来賓挨拶：日本生協連関西地連・村上事務局長、
(下)左から、議案提案：森井県連専務理事、会場発言：滋賀医科大学・惣司代議員

第52回通常総会内容

- 第1号議案 2025年度活動報告及び決算、
剰余金処分案承認の件
第2号議案 2026年度活動計画及び予算承認の件
第3号議案 役員改選の件
第4号議案 役員報酬決定の件

第3号議案の役員改選は定数内のため、全員無投票
当選となりました。

【出席状況】出席代議員42名

本人出席7名、書面出席35名、委任出席0名、欠席2名

2026年度(第46期)役員名簿 *印は新任

役職名	氏名	所属
会長	白石 一夫	生活協同組合コープしが 理事長
副会長	池添 達也	滋賀県勤労者共済生協 専務理事
専務理事	森井 徹	滋賀県生協連 専務理事
常務理事	佐藤 由紀	滋賀医科大学生協 理事
常務理事	横井 浩二	滋賀県勤労者住宅生協 常務理事
理事	河瀬 文	生活協同組合コープしが 副理事長
理事	森 奈緒子	生活協同組合コープしが 常任理事
理事	寺田 真	生活協同組合コープしが 常務理事
理事	関野 博之生	滋賀大学生協 専務理事
理事※	村上 泰三	滋賀県立大学生協 専務理事
理事	陌間 秀幸	滋賀県職員生協 専務理事
理事	日永 勇介	グリーンコープしがまる生協 理事
理事	福塚 友見	しが健康医療生協 専務理事
理事	山下 崇輝	生活クラブ生協 専務理事
監事	笠川 英明	生活協同組合コープしが 常勤監事
監事※	西田 貴司	滋賀県職員生協 理事



新任役員 左から村上泰三さん(滋賀県立大学生協 専務理事)、西田貴司さん(滋賀県職員生協理事)



退任役員 県連副会長 森井和則さん(滋賀県立大学生協 専務理事)
他に、監事 金岡英明さん(しが健康医療生協常務理事)が退任(当日欠席)

特集 2026年度活動方針と重点課題

生活協同組合コープしが

生産者の"顔が見える"食のイベント、今年も開催！

人気イベント「ぱくぱく商品知ってね！交流フェス」が、「生産者がやってくる！ぱくぱく試食会」としてリニューアルします。生産者・メーカーの皆さんをお招きし、商品の特色や込めた想いを「見て・聞いて・食べて」体感できるイベントです。県内9か所の宅配センターと4か所のコープ店舗を会場に、6月から全14会場で順次開催する予定です。誰でも気軽に参加できます。また、1,000名以上の組合員と50以上の生産者・メーカーが一堂に集う、コープしが最大の食のイベント「商品大交流会」を今年も開催します。毎年大好評のこちらまでどうぞお楽しみに！



商品大交流会



各イベントの詳細・参加申し込みは、月刊広報誌「スパイラル」およびコープしが公式ホームページをご覧ください！！

生活クラブ生活協同組合

地域に開く、地域とつながる

組合員も、地域のみなさまも生活クラブのセンターを交流の場に、楽しい場所にしてもらうことを目的に活動し続けます。

- ・生活クラブマルシェの開催…食べものや雑貨類などのブースが並び、センター開設の3年前から定期的に開催し、回を追うごとに来場者、出店者が増えています。センターの駐車場で子どもたちが走り回って、楽しい声が響いています。
- ・毎週火曜日の留め置き班と100円ランチ…子どもたちの居場所として、夏休みにはプールを出して水遊び。夏以外の季節は、センターの駐車場いっぱいにチョークで絵を描いています。子どもが遊んでいる横で、大人は100円ランチでほっこりしています。託児室も大活躍です。大人もほっこり、子どもも楽しい。老若男女が集う場所になっており、もっとおおぜいの人たちが集う場所になっていきます。
- ・センターに来てもらうだけではなく、さまざまな地域で開催されているマルシェにも積極的に出店し続けます。

今年度も、さらに地域に開き、地域とつながる活動に力を入れていきます。食べもの・エネルギー・たす



地域のマルシェへも出店しています

けあい・福祉・環境が、自給、循環する地域づくり、社会づくりに取り組み続けます。

グリーンコープしがまる生活協同組合

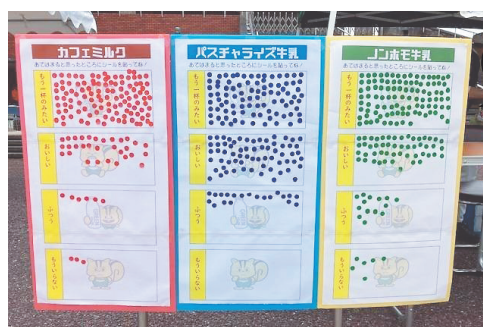
循環型社会の実現をめざして ～2025年度の歩みと2026年度の挑戦～

2025年度は「食えること」「くらすこと」「地域とつながること」を大切にしながら、多くの組合員参加型活動に取り組んでできました。「親子でモッツアレチーズ作り」学習会では、びん牛乳からチーズを作る体験を通じて、牛にも人にもやさしい共生・循環型酪農について楽しく学びました。また、クリスマスケーキ試食会や講演会では、生産者やメーカーの想い、民衆交易や環境を守る取り組みに触れ、グリーンコープの魅力を実感いただく機会となりました。さらに、地域イベント「野洲コミセンまつり」では、びん牛乳の試飲や活動紹介を行い、多くの地域の皆さんにグリーンコープを知っていただくことができました。

2026年度は、グリーンコープしがまる生協として初めての「生協まつり」を開催します。生産者・メーカー20社とともに、「みどりの地球をみどりのままで」を合言葉に、食と環境、地域をつなぐ楽しい交流の場をつくりまします。今後も、循環型農畜産業やカーボンニュートラルの取り組みを広げながら、持続可能な未来づくりを進めてまいります。



野洲コミセンまつり



3品の“びん牛乳”試飲感想ボード

いずれも
高評価!!

滋賀県勤労者共済生活協同組合

拠点移転とともに進める、 つながり強化の取り組み

2026年度は「こくみん共済coop中期経営政策2026-29(Action & Challenge)」の初年度を迎えます。「たすけあいの仕組みを未来につなぐため、持続できる運営・収支基盤を構築する」ことを掲げ、組合員の皆さまの生活を守り、長期的に保障を継続していくための事業基盤の維持・強化を最重要課題として活動を進めてまいります。

また、2026年2月には事務所を大津から草津駅前へ移転しました。より利便性の高い新たな拠点として、組合員の皆さまとの接点強化に努めております。公式アプリやマイページの普及促進とあわせ、対面・デジタルの双方からコミュニケーションをさらに充実させてまいります。

さらに、防災・減災への取り組みをはじめ、「7才の交通安全プロジェクト」や「こどもの成長応援プロジェクト」を通じて地域社会への貢献と、社会課題の解決に引き続き取り組んでまいります。



滋賀県勤労者住宅生活協同組合

住宅事業を基盤に 自主福祉運動の推進

滋賀県住宅生協は、「助け合い・支え合う」共助拡大の取り組みを地域に広げ、誰もが経済的困窮や社会的孤立に陥ることなく、豊かで安心して暮らすことのできる地域社会の実現を目指して、自主福祉運動を進める組織の中で住宅関連の役割を担いながら事業を運営しています。

今年度も分譲地販売を基幹事業として位置づけ、働く人々のニーズに即した安心・安全なまちづくりに注力してまいります。あわせて、リフォームや空き家問題など住まいに関する相談への丁寧な対応、児童福祉施設やフードバンクへの継続支援、建築を学ぶ学生団体への地域貢献活動支援や地元企業とのマッチングにも取り組みます。さらに、近年頻発・激甚化する災害を踏まえ、防災・減災の取り組みをはじめ、災害救援・支援活動を実践できるよう、関係諸団体との連携を図りながら進めてまいります。



企業説明会の開催



学生団体への支援

しが健康医療生活協同組合

誰もが健康で居心地よく暮らせる まちづくりへの挑戦

しが健康医療生協は、栗東市と湖南市において医療・福祉・介護事業を展開しています。診療所での診療や在宅医療をはじめ、訪問看護・介護、デイサービス、病児保育室などを運営し、医療・介護・福祉の連携を進めています。2026年度は「誰もが健康で居心地よく暮らせるまちづくりへの挑戦」を掲げ、活動を進めてまいります。

活動の核となるのは、地域の身近な「居場所」である班会やサークルです。健康チェックや世代を超えた交流を通じて、支え合える関係づくりを育んでいます。親子で取り組む健康チャレンジや、市の助成を受けて運営する地域サロン「来てやカフェ」「にじの家サロン」にも継続して取り組みます。

最大のトピックスは、こびらい生協診療所のリニューアル計画です。厳しい情勢下ではありますが、地域の安心の拠点を次世代へ引き継ぐための大きな一歩と位置づけています。誰一人取り残されない地域社会の実現に向けて、これからも皆さんとともに取り組みを進めてまいります。



子ども食堂



保健講座 救急救命を学ぼう

滋賀県職員生活協同組合

県事業との連携 「地産地消の取り組み」

県職員生協は、県庁職員を対象とした職域生協として、本部および県内8支部において、売店、食堂、名刺印刷・宅急便等の取次および保険事業など、職場生活に密着した多様なサービスを展開しています。

私たちは「地産地消」「県産品の利用拡大」など県との連携事業を積極的に進め、組合員だけでなく県からも必要とされる生協をめざしています。その一環として、県庁売店では、毎週木曜日、県立農業大学の学生さんが実習でその日の朝に収穫された採れたて野菜を販売しています。果物の季節には、県内の果樹農園や県農業振興センターからメロンやぶどうを仕入れているほか、県立高校で飼育・採取された鶏卵も取り扱っています。いずれもすぐに完売するほどご好評をいただいています。さらに、県内天然繊維三産地の地場産品や「びわ湖パール」など、県産品の展示販売会も開催しています。

今後とも「くらしと健康を守り、生きがいを育む」ことを理念に、地元の魅力ある産品をお届けしながら、県職員の福利厚生の一翼を担ってまいります。



滋賀県立大学生生活協同組合

地産地消の取り組み

滋賀県立大学生協では、滋賀県産米を使った日本酒「湖風」を毎年販売しています。「湖風」は、2011年より学生団体・滋賀県立大学日本酒プロジェクトが地元の喜多酒造と生協と協力し、お米栽培からお酒の製造、販売まで学生自らが携わって生み出した日本酒です。

若者の日本酒離れを食い止めるとともに、地産地消と地域共生を体現する取り組みとして、生協はショップでの販売や試飲会の実施などを通じて支援してきました。学生団体や学生の課外活動の後押しができることを嬉しく思います。

また、生協食堂は毎日1100名を超える学生が利用しており、滋賀県内で作られたお米を日常的に提供しています。大学で作られたお米の期間限定の提供、近江牛フェアなど、地域食材を活かした企画にも積極的に取り組んでいます。

今後もショップやカフェテリアを通じて、食育、健康、安心、安全を意識した地産地消の推進に努め、学生と地域が共に育つ地域共生を盛り上げていきます。



2026年1月
近江牛WEEKのポスター



日本酒「湖風」

滋賀医科大学生活協同組合

毎日のご利用から一歩ずつ

昨年度の滋賀医科大学生活協は、食堂ホールの改修が完了し、通年で通常営業を進められたことが追い風となり、購買事業も伸長し、全体として予算を上回る黒字決算で終えることができました。1年を通じてあらためて感じるの、小さな生協でありながらも、組合員一人ひとりの毎日の継続的なご利用が大きな力となっているということです。

2026年度は、こうした日々の積み重ねから、着実な経営を進めていくことを方針としています。昨年からの開始した購買の夜間無人営業については、より利用しやすくなるよう、試験時期の週末などへの拡大を検討しています。食堂については、運営を業務委託している事業連合や立命館生協の支援を得ながら、組合員の皆さんの満足度向上に向け、提供メニューの選択や衛生レベルのさらなる向上を目指します。

医療従事者をを目指す学生の皆さん、そして医療に関わる研究・教育に携わる教職員組合員のキャンパスライフを、今年度も引き続きしっかりと支えてまいります。



食堂 SUMSキッチン



滋賀大学生生活協同組合

組合員さんの生活を支えるために

滋賀大学生協は、2024年度に大津キャンパスと彦根キャンパスとが統合しました。統合によって、学生の日常が大きく変わったわけではありませんが、コロナ禍以降、学生の生活習慣は大きく変化し、生協を単なる「食堂」「購買」とだけ認識する層が増えているように感じています。

学生から「これも生協なの？」の声を耳にすることがあり、組合員活動への参加機会を広げていく重要性を改めて実感しています。学生団体の活動支援をはじめ、「生協なら相談できる」「生協で何かしたい」と思ってもらえるよう、組合員の声に寄り添った運営を進めてまいります。

2026年度は、

- ①生協の認知向上、及び生協へ興味関心を持ってもらえるように努めます。
- ②健康的で安全・安心な大学生活を支えます。
- ③組合員の学びやキャリアなど、将来に向かう成長を支えます。
- ④組合員に生協を利用してもらい、組合員への還元をする、利用と還元が循環できる経営構造の構築



彦根キャンパスの七夕祭り

を目指します。

また、学内プロジェクトから誕生した滋賀大学オリジナル日本酒「^は菰ぐくみ」は、学生が田植えから稲刈りまで携わり、地域農家と北島酒造株式会社(湖南市)の協力で完成した一本です。ぜひ生協店舗にてお買い求めください。

生活協同組合コープ自然派京都

草津センターを拠点に地域とのつながりを広げる取り組み

コープ自然派京都では「国産オーガニックを増やす」という理念のもと、組合員・生産者・地域をつなぐ活動を進めています。

昨年、滋賀県草津市山寺町に草津センターを新設し、滋賀エリアにおける供給体制の充実を図りました。これにより、多くの皆さまへ安心・安全な商品をお届けするとともに、地域に根差した活動を進める基盤が整いました。また、草津センター開設を機に開催したフェスタでは、多くの組合員や地域の皆さまにご来場いただき、コープ自然派の理念や商品の魅力、生産者の想いを直接お伝えする機会となりました。地域との新たなつながりが生まれ、協同組合としての役割を改めて実感する取り組みとなりました。

さらに、地元生産者を応援する取り組みにも力を入れています。生産者との交流や産地情報の発信を通じて、地域農業の価値や魅力を組合員へ届けるとともに、生産者と消費者が支え合う関係づくりを進めています。これからも組合員・生産者・地域をつなぐ活動を大切にしながら、持続可能な地域社会づくりに貢献してまいります。



日本労働者協同組合センター事業団

協同労働を地域に伝える 1 年に

私たちは 2026 年度の活動方針として、組合員一人ひとりが主体的に仕事に取り組む、風通しの良い職場づくりを推進し、利用者や地域の困りごと・課題と向き合い、「地域にあったらいいな」と思える仕事づくりに挑戦していきます。

2025 年度は、国際協同組合年（IYC2025）の記念事業として、「医師 中村哲の仕事・働くということ」の県内連続上映会や、市民・団体向けの集会を開催し、多くの市民の方々と交流し、連帯の輪を広げてきました。

2026 年度は、地域での活動をより推進する事業として、草津市にて協同労働推進事業を受託しました。草津市内の自治会関係者や市民の皆さんに対し、協同労働を通じた市民主体の仕事づくり・まちづくりを普及啓発する取り組みであり、6 月より市内各地で学習会を開始しています。

私たち自身も、市民・当事者という立場を軸に、地域の皆さんとともに、誰もが暮らしやすい社会を築いていけるよう、一丸となって取り組んでまいります。



滋賀県で活動する組合員

第 100 回 通常総代会を迎えて

立命館生協の 2026 年度方針を決める総代会は、記念すべき「第 100 回通常総代会」となりました。設立以来、様々な経緯を経てきましたが、京都・滋賀・大阪・大分と複数の府県に事業所があるのも立命館生協の大きな特色の一つです。とりわけ滋賀県草津市のびわこ・くさつキャンパス（BKC）は、開学時から生協が営業を続けてきた店舗が入る建物改装が 2025 年度から始まり、今年度の秋には食堂 2 店舗・ショップ 1 店舗の計 3 店舗と建物全体のリニューアルが完了する予定です。2 店舗については約 30 年ぶりの大規模改装になるため、立命館生協としても総額 3 億円を投資し、現在のキャンパス事情にフィットした店舗づくりを進めています。

一足早く 2026 年 3 月にリニューアルオープンした店舗は、「ユニオンプラス」という新名称で営業を開始しました。名称は組合員からの公募 231 通の中から選ばれ、4 月以降、多くの組合員に利用されています。秋の全館改装完了を無事に迎え、第 101 回総代会に向けて、組合員の皆さんとともに活動を進めていきたいと考えています。



農学部×生協の連携でつくる「たんぱく食堂」

龍谷大学生協では、農学部食品栄養学科の「龍谷スポーツ栄養サークル」と連携した、期間限定の企画「たんぱく食堂」に取り組んでいます。この活動は、学生が日頃の学びを実践に移し、学内の健康づくりや食育を推進することを目的としています。

メニューは、スポーツに励む学生だけでなく、運動習慣の少ない学生や、美容・健康に関心のある層まで幅広く手軽にたんぱく質を摂取できるよう工夫されているのが特徴です。「鮭・卵・ほうれん草の三色たんぱく丼」や「たんぱく豆乳担々麺」など、栄養面はもちろん、食べ応えや美味しさにもこだわった多彩なラインナップが並びます。

学生の健康的な食生活を支えるだけでなく、学部での専門的な学びを学内へ還元する、龍谷大学と生協ならではの先進的で温かみのある食育支援の取り組みです。去年は瀬田キャンパスのみでの企画でしたが、今年は全キャンパスの食堂で展開をしています。

龍谷大学生生活協同組合

「農学部食品栄養学科 龍谷スポーツ栄養サークル」× 龍大生協 連携企画

たんぱく食堂フェア

～学びもスポーツもキレイも応援～

たんぱく質は、筋肉や骨格を支えるだけでなく、免疫力を高める効果があります。たんぱく質を摂ることで、健康的な生活を送ることができます。

5月25日～29日

たんぱく食堂フェアのメニューは、栄養満点で美味しいです。ぜひご利用ください。

メニュー例：

- 鮭・卵・ほうれん草の三色たんぱく丼 ¥341
- たんぱく豆乳担々麺 ¥341
- たんぱくプラス！小松菜とツナのナムル ¥99
- リコピンチャージ！かぼちゃとトマトカレー ¥297
- たんぱく・卵・ほうれん草の三色たんぱく丼 ¥583
- まろろたんぱく豆乳担々麺 ¥550

実施店舗：深草：22号館食堂 瀬田：青志館食堂 大宮：清和館食堂

ピースアクション in オキナワ

『第43回 沖縄戦跡・基地めぐり』に参加しました

2026年3月25日～27日、滋賀県生協連から2名(うち1名 大学生協 学生委員)が「沖縄戦跡・基地めぐり」に参加しました。

1日目は、玉木利枝子さん(92歳)から戦争体験を伺いました。宜野湾での避難生活、砲弾が飛び交う中で家族と逃げ続けた日々、雨の中で壕(ガマ)に入れず震えながら夜を明かしたこと。そして兄や家族を失った悲しみなど。戦争がもたらす惨禍と記憶を語り継ぐことの大切さを強く伝えられました。

2～3日目は、辺野古・瀬嵩の浜、嘉数高台公園、糸数壕(アブチラガマ)、平和祈念公園、韓国人慰霊塔・

平和の礎、平和祈念資料館、魂魄の塔などの戦跡を巡りました。また、普天間基地や移転先の辺野古の現状も学びました。糸数壕では暗闇の中で、当時の過酷な状況を肌で感じ、普天間・辺野古では本土においては十分に共有されていない沖縄の現実に触れました。

今回の参加を通じて、戦争が人間性を奪い、多くの命と日常を破壊する残酷な行為であることを改めて痛感しました。戦後80年を迎える今、戦争体験者の声に耳を傾け、記憶と教訓を次世代へつなぐことの重要性を再認識する機会となりました。



街の真ん中にある普天間飛行場でヘリコプターの騒音が絶えず響いていました



平和の礎には、沖縄戦犠牲者24万人余りの名前が刻まれています



魂魄の塔には、糸満市住民や日本兵、米兵ら3万5千人余りが納骨されています

5月30日(土) 2026年度 消費者月間セミナー 「AI時代に考える スマホの活用について」

講師:NTTドコモ モバイル社会研究所
小野 一成 氏



消費者ネットしがと滋賀県とともに、消費者月間セミナーを開催しました。スマートフォンに関する意識調査をもとに、世代ごとの利用実態やメリット・デメリット、そして子どもに向き合う大人の視点について学びました。

シニア世代では、SNSが「接続できる」から「利用する」へと変化し、人とのつながりが広がっています。一方で、ネット詐欺や悪質な勧誘のターゲットになりやすいという課題もあり、情報の正確さを見極めることが重要だと示されました。また、子ども世代はスマートフォン所有の低年齢化が進み、SNSが日常生活の中で「つながり」や「発信」の手段として定着し、AIの利用

も急速に広がってきています。親や大人に求められる関わり方として、「問いかける」、「共感する」、「受け入れる」という姿勢が大切であることを学びました。

SNSは、家族や友人とのコミュニケーション、情報収集など多様な目的で使われるようになり、複数のSNSを使い分ける時代になっています。その一方で、偽情報・誤情報のリスクは全世代に共通する課題です。AIの普及が急速に進み、知る(データで現状を把握する)、活かす(便利さを安心して使う)、守る(リスクを理解し備える・情報に踊らされない)の三つの視点を持って、情報に向き合うことの重要性が示されました。

『いま伝えたい平和への想い VI』 ～体験者からのメッセージ～

2026年3月『いま伝えたい平和への想い VI』を
刊しました。戦争の悲惨さを次の世代に伝えるた
め、戦後70年にあたる2015年から県内で聞き取
りを重ね、戦争体験者の声をまとめた冊子が6冊目
になりました。従軍看護婦としての活動や、満州
での暮らし、終戦後に国境を越えて帰還された経
験など、懸命に生き抜いてこられた20名の方々
のお話をまとめました。これらの聞き取りを通して、
平和の大切さをあらためて考えるきっかけになり
ました。

戦争体験者の高齢化が進み、直接お話を伺える
機会が年々少なくなっています。今でなければ聞
くことのできない体験を記録し、次の世代に引き
継ぐため、多くの方から体験談をお寄せいただ
けるよう募集しています。戦争の歴史が遠い過去
のものとなりつつある今、失われゆく記憶を残す
ことを目的とした取り組みです。



『いま伝えたい平和への想い I～VI』

5月24日(日) 能登半島震災支援 ボランティア報告

大阪府生協連、高知県生協連との共同企画とし
て、輪島市町野町の旧東小学校体育館で炊き出し
(たこ焼きづくり)を実施しました。当日は地域住
民の皆さんや子どもたちと一緒にたこ焼きを焼き
ながら交流を深めることができ、大変喜んでい
ただきました。

一方、輪島市の被災地では、倒壊家屋の解体が
進み平地がひろがるなど復旧作業が続いています。
通行止めとなっていた道路も徐々に開通し、イン
フラ整備が少しずつ前進していますが、地域の暮
らしが元に戻るにはまだ時間を要する状況です。

滋賀県生協連として、これからも被災地に寄り
添いながら、息の長い活動をすすめていきます。

